

春のまち美化キャンペーン



5月22日（月）に「春のまち美化キャンペーン」に参加させて頂きました。

多摩市主催の取り組みで、歩行喫煙の禁止、ごみのポイ捨て等のまちの環境美化の推進や、ごみ減量・資源化の推進を呼びかけるため、市民・市民団体・事業所の方々と一緒に聖蹟桜ヶ丘駅周辺のごみを拾いました。

駅前や各ビル・店舗前は日頃から掃除が行き届いているためにゴミは見当たりませんが、街路樹や植込み・花壇などにはタバコの吸い殻や、空き缶・ペットボトルなどが、わざわざ隠すように捨てられていました。通りを歩く人の気持ちをなごませるためのせっかくの植込みのお花や植物が可哀そうに感じられました。

「自分のゴミは最後まで責任をもって始末をする」といったルール・マナーを、まちに住む人、まちで働く人、まちを訪れた人、一人一人がしっかりと守れば、ゴミも減り、自慢できる綺麗なまちになると思います。

私も短時間の清掃ではありましたが、あらためてマナーの大切さを実感することが出来た活動となりました。

